

岩手北部署、盛岡署の採材現地検討会に参加

令和7年9月25日(木)、岩手県二戸市浄法寺の御山第1国有林内において岩手北部署と盛岡署の共催による採材現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。当日はあいにく雨模様となりましたが、県・市町村担当者、林業関係団体や林業事業体など100名の参加者を得て開催されました。

岩手北部森林管理署長の挨拶後に出席者の紹介、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。次に署担当者から昨年度の素材販売結果や現地概要等について説明が行われ、実際の現地検討に移りました。



開会式の様子



盛岡農業高校の生徒も聴講生として参加

今回は高性能林業機械を使用して生産した素材の取扱いについて、仕分けや桧の作成をテーマにして参加者が3班に分かれて検討し結果を発表。発表結果を岩手県森林組合連合会から講評していただくとともに、採材に当たっての留意点等についても情報提供していただき、有利採材・販売に向けての理解を深めることができました。

最後に、青森事務所から講評と労働安全等についてお話をいただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



3班に分かれて検討



各班の検討結果について解説